

〇いわき市保幼小連携コアカリキュラムの4つの柱		〇「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関連性																						
柱	内容	関連する姿																						
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩													
生活	・自分の健康や体について関心を持ち、食べ物、運動、生活リズムの大切さなどに気づき、自分でできることをしようとする。	○	○																					
	・身の回りの出来事や生活全般について興味を持つ。							○	○		○													
	・家族や友だちとの関わりの中で食事を楽しむ。	○	○		○																			
	・戸外で体を十分に動かし、友だちと一緒に遊びや活動を進める楽しみを味わう。	○	○	○																				
	・自分でしなければならないことを自覚して行い、あきらめずにやり遂げることで満足感や達成感を味わう。		○																					
遊び・学び	・豊かな経験を通じて感じたり気づいたりできる喜びや楽しさを味わう。		○		○	○	○			○		○												
	・周りの友だちや自然に刺激を受けながら、生き物や身近な事象に興味・関心を持つ。				○				○	○											○			
	・友だちと一緒に遊びや活動を行う中で、考えたり、工夫したりして楽しさを共有し、友だちの良さに気付いたり、認めあったりする。				○	○				○											○			
	・思いきり体を動かし、友だちと相談しながら、遊びに必要なルールを考え出す。				○					○											○	○		
	・物の使い方や遊び方において、工夫したり試したりし、失敗しながらも、新しいことを成し遂げ、自信を持って行動できるようになる。		○							○											○	○		
	・様々な活動や遊びを十分に楽しみ、意欲的に取り組むとともに、主体的に行動することで充実感や達成感を味わう。		○	○						○											○	○		
自己	・自分なりに疑問に思ったことを調べたり、工夫したりしながら取り組む。																				○	○	○	
	・いろいろな活動や遊びを通して、友だちや周囲の人に認められる喜びを味わう。		○	○	○																			
	・友だちや大人との関わりを通して自分の良さに気付く。		○	○		○				○														
	・友だちと関わりながら、互いの思いや考えに気づき共有する中で、共通の目的に向けて、考えたり工夫したり協力したりする面白さを味わう。					○															○		○	
	・場面や状況に応じて、自分なりに判断し、自己をコントロールしようとする。		○			○																		
	・自分の力で行動することや、工夫しながらあきらめずにやり遂げることで、充実感や達成感を味わう。		○	○																				
人とのかかわり	・友だちが感じたこと、考えたことに興味・関心を持ち、自分が感じたこと、考えたことを様々な方法で自分なりに表現する楽しさを味わう。								○		○	○									○	○		
	・困っている友だちに気づく。								○	○												○		
	・様々な活動を通して人と関わる楽しさに気づき、相手の話を聴き気持ちを感じ取ったり、自分の思いを伝えたりする。									○		○	○									○		
	・友だちの思いや頑張りに気づき、互いに認め合う中で相手を大切に思う気持ちを持つ。									○		○												
	・友だちと一緒に遊びや活動を行う中で、楽しさを共感しあう。									○	○											○	○	○
	・困っている友だちに声をかけて、助けようとする。									○	○												○	
	・集団生活を送る上でのルールや約束ごとを学び守ることで、充実感や達成感を味わう。									○	○													
・友だちの力になることで、お互いの大切さを実感する。									○	○														

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】
 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
 ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現